

第30回 二十五三昧会

檀信徒以外の方、曹洞宗以外の方、初めての方も、お気軽にご参加ください。

知ってる?? ホームホスピスって聞いたことありますか?

これからの「看取りの家」を考える!

11月29日(日)

参加自由

本堂にて

①勉強会 14時~16時 ②交流会 16時~18時

「ホームホスピス」は聞きなれない言葉だと思いますが、「ホーム」は「家庭」、「ホスピス」とは「死期の近い(末期がんなどの)患者に安らぎを与え、看護する施設」を言います。ですから「ホームホスピス」とは「看取りの家」と言い換えることが出来ると思います。さて、核家族、老々介護、一人暮らしが、ますます増えている中、病院では早期退院、施設では待機待ちの状態等…私たちは、どこで最期を迎えたらいいのでしょうか?



阪神間で、最初に生まれた看取りの家「愛逢(あいあい)の家」は、そんな私たちの不安を受けて出来た「普通に暮らし、安心して死んでいくところ」です。

尼崎市で「いのち」を全うするための終の住処、「愛逢の家」を立ち上げられた兼行(かねゆき)栄子さんに、立ち上げのきっかけ、利用者の皆様の様子からホームでの暮らしぶりを聞かせていただきます。

この機会に、今後の高齢期に向けた私たちの心がまえ、さらには終末について一緒に考えてみませんか?ぜひ、ご参加ください。

二十五三昧会(にじゅうござんまいえ)とは、お寺が中心となり「メンバーの誰かがヘルプを願い出たら、みんなで出来る範囲のお手伝いをしよう」など、おだやかな人的交流の互助的な共同体です。

お問い合わせ—観瀧山 岡本寺 (こうほんじ) TEL.072-793-0203